

「みち再生事業」第2回検討会を開催しました

平成15年12月17日に高知市潮江市民図書館にて「みち再生事業」の第2回検討会が開催されました。今回は棧橋通りの「魅力」とは何かという討議と具体的な整備計画案を提示しながら、地元商店街関係者、地区コミュニティ関係者、学校関係者のそれぞれのグループに分かれ、ワークショップ形式で検討をしていただきました。

最後のまとめでは検討会の進行役である高知工業高校の溝渕先生より、棧橋通りとクスノキの歴史的背景やその存在感についての話をしていただきました。

次回は、平成16年2月中～下旬に開催を予定しており、今回の意見を集約したうえで、より具体的な整備計画をもとに更なる検討をしていただきます。



全体討議風景



地区コミュニティ関係者ワークショップ



学校関係者ワークショップ



地元商店街関係者ワークショップ

第2回検討会の報告

みち再生事業 第2回検討会	
平成15年12月17日(水) 午後1:00~9:30 高知中央図書館3階 大ホール	
進行次第	
19:00~19:05	1. あいさつ
19:05~19:35	2. 棧橋通りの『魅力』についての討議
19:35~19:45	3. 棧橋通りでの交通事故実態
19:45~19:55	4. 整備計画(たたき台)の説明
19:55~20:45	5. グループ討議
20:45~20:55	6. まとめ
20:55~21:00	7. 今後の予定

平成15年12月17日(水)に第2回検討会が開催されました。
第2回検討会では、前回検討会からの宿題であった“棧橋通りの魅力”について討議し、その後、3つの班に分かれて機能面での整備計画(たたき台)についてグループ討議を行いました。



全体討議の要旨

1. 棧橋通りの『魅力』

- ① どうしてクスノキが植えられたのか、昔を振り返って考えてみてはどうか？
 - ・ 平和の祈念としての意味が非常に大きいと思う。
- ② 電車やバスがたくさん通っていて、交通の便がとても良いと思う。
- ③ クスノキによる夏の日陰の魅力。
- ④ 木を活かして色んなことに利用できたら良いと思う。
- ⑤ 電車とクスノキという異質なものが、調和がとれていると思う。
- ⑥ 学生通り、学生服通りというか、学生が朝晩通りますので、そういう面も魅力だと思う。
- ⑦ 「商店街の提案」
 - ・ 今後の長期に渡る枝葉の剪定等の経費を軽減するために、クスノキを60m間隔に減らし、その間20m間隔に適当な落葉樹を植える。
 - ・ クスノキを適当な間隔で間引き、地上から適当な高さに切り取ってクスノキの切り株を利用する。
 - ・ 棧橋通りの呼び名を「自由民権通り」とか「民権通り」とか改称できれば地域の発展につながると思う。
- ⑧ 僕たちのおじいさんの時代には、この辺りが商業産業の中心になれば、という思いがあったのだと思うので、自分たちがそれを再認識できれば、魅力を大きくできるのだと思う。

2. 棧橋通りにおける交通事故実態(高知県警)

高知県警による交通事故の実態について説明して頂きました。

3. 整備計画(たたき台)の説明

① 交通量に見合った車道及び歩道の整備

- ・ 自転車歩行者交通量が少なく自動車交通量が多い、棧橋通り5丁目交差点~ココス棧橋通り店交差点の区間を6車線化する(現在は5車線)。
- ・ 自動車交通量が少なく自転車歩行者交通量が多い、梅ノ辻交差点~潮江橋の区間を4車線化し歩道を広げる(現在は6車線)。

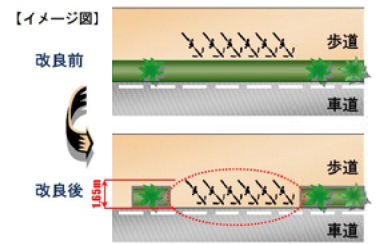
② バス停留所での植樹帯の移植・撤去

- ・ バス停留所内にある植樹帯及びクスノキにより、バス停の位置が分かりづらく、乗降しづらいため、植樹帯を植樹柵に変更しクスノキを移植・撤去する。



③ 駐輪場の整備

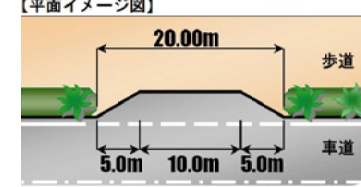
- 1) 植樹帯を植樹柵に変更し、空いたスペースを駐輪場として整備する。
- 2) 空家の利用し、駐輪場として整備する。
- 3) 公共施設空間の有効利用し、駐輪場を整備する。
- 4) スーパー・銀行への働きかけ



④ 荷捌き場の整備

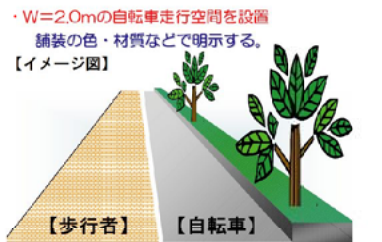
- ・ 植樹帯を植樹柵に変更し、荷捌きスペースを確保
- ・ くすの間隔15m以上必要 ⇒ 移植を伴う場合もある

植樹帯を植樹柵に変更し、荷捌きスペースを確保する。ただし、クスノキ間隔が15m以上は必要であるため、移植を伴う場合もある。



⑤ 自転車と歩行者の分離

歩道内にW=2.0mの自転車走行空間を設置する。区分は舗装の色・材質等で明示する。



⑥ バリアフリー化に向けた整備

- 1) 歩道路面の段差や凹凸をなくし、歩行者や車椅子が通行しやすい歩道とする。点字ブロックの連続的な敷設。
- 2) バス停留所における支障物の除去及びクスノキの移植・撤去等乗降スペースを確保する
- 3) 路面電車停留場にスロープを設置する。

⑦ 軌道内の緑化

現在一部試験的に行われている軌道内の緑化を棧橋通り全線に渡って実施する。

⑧ 電柱の地中化

⑨ 南海化学壁面利用



殺風景な壁面を利用して、何か出来ないだろうか？(検討委員への投げかけ)

⑩ オープンスペースの有効利用

棧橋通り内の交差点(4箇所)にあるオープンスペースを有効利用する。例えば「移植したクスノキを利用した休憩所」等。



⑪ 通学路の確保



みち再生事業エリア内には、歩道の設置されていない通学路が多くあるため、側帯を2重線とした「歩行者用路側帯」とし、完全な駐停車禁止とする。

4. まとめ(溝淵先生、高知土木事務所)

現在50年経ったこのクスノキが、100年後にどんなクスノキになっているか頭に描けるが、そのイメージが大事で、目先の10年で考えては駄目なのです。モノから心、量から質という時代なのです。そして、この棧橋通りもまた、クスノキとあいまって近代化遺産の非常に価値の高いものです。

この検討内容を踏まえて、次回の第3回検討会では、棧橋通りの“魅力”と整備計画(たたき台)について検討し、第2回説明会で皆さんに提案したいと思います。